

どうやって情報を守るべき？

企業で取り組むSalesforceのセキュリティ対策

株式会社NTTデータ

第二金融事業本部 デジタルバンキング事業部 オファリング統括部 コンサルティング&セールス担当

1.0版

INDEX

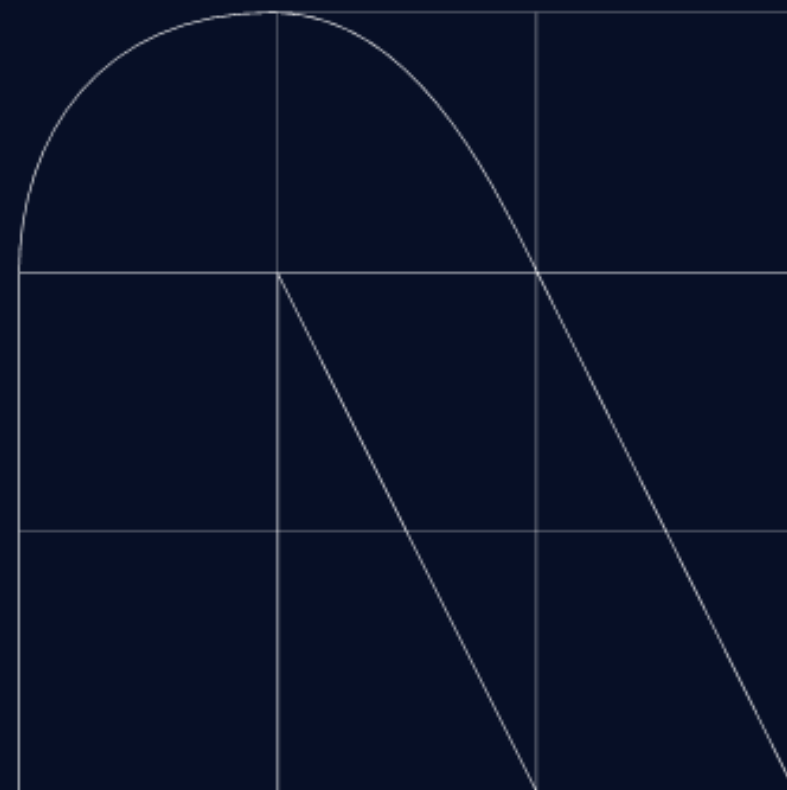
はじめに

Salesforceをセキュアに使うための
“リスク対策”と“アップデート対策”

A-gate®Salesforceの機能・特長

A-gate®の実績・導入事例

A-gate®Salesforce導入の流れ



01

はじめに



はじめに

近年、非対面営業やECの拡大などの行動変容に伴い、株式会社セールスフォース・ジャパンが提供するSalesforce製品の導入が進んでいます。Salesforceは、ビジネスパートナーとの情報共有や、インターネットユーザーとのコミュニケーションサイトなど、営業活動を推進する有用な機能を多く備えており、企業ごとに多様な設定も可能です。

課題感： 情報漏洩リスクにつながる「設定ミス」や「誤操作による誤った参照権限の付与」への対策

- ✓ Salesforceは営業活動において重要データや顧客情報を取り扱うため、情報漏洩のリスク対策が必要です
- ✓ また、Salesforceは年に3回の大規模アップデートで毎回500項目以上の機能追加あり。利用企業による機能追加の検証が不十分な場合、アクセス経路や情報共有機能を意図せずに追加してしまうこともあります

02

Salesforceを
セキュアに使うための
“リスク対策”と“アップデート対策”



Salesforceにおけるセキュリティ脅威

Salesforce製品が普及する一方で、利用者側の設定ミスや誤操作などを原因とする情報漏洩や不正アクセスが多発しています。例えば、顧客の個人情報漏洩すると多大な被害を受けます。

また、Salesforceの導入を決意してすぐに構築を始めることは、設定・操作に関するセキュリティポリシーが未適用の状態で行うことに繋がり、とても危険です。

こうしたリスクを抑えるために、セキュリティを維持する万全の仕組みが必要です。

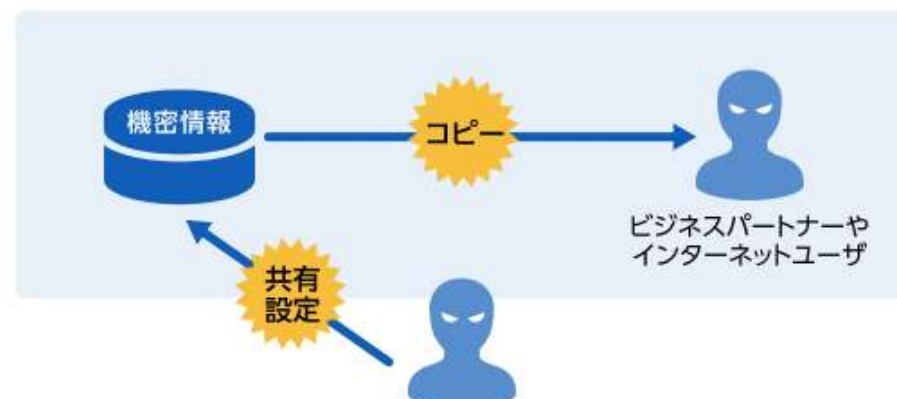
Salesforceは設定ひとつでインターネット上に
情報を公開できます。

設定ひとつでインターネット上に情報を公開！



Salesforceは社外ユーザやインターネットユーザと
情報を共有できます。

内部犯によるデータ持ち出しは極めて容易！



Salesforceにおけるセキュリティ脅威

Salesforce利用におけるセキュリティ脅威として、代表的なものは以下のとおりです。
Salesforceには情報漏洩に直結する設定(ファイル公開、Chatterへの外部ユーザ招待、オブジェクトの参照権限)が存在しますが、これらを適切に設定・維持する必要があります。

セキュリティ脅威	発生事象(例)
リスク① ファイルのインターネット公開	・インターネット公開設定による情報漏洩
リスク② Chatterにインターネットユーザを招待して内部情報を共有	・外部アカウントとのデータ共有による情報漏洩
リスク③ 社外ユーザへ不要なオブジェクト(データベース)の参照権限を付与	・外部からの参照機能による情報漏洩 ・インターネットアクセスによる情報漏洩

[illegible]

約600項目の
アップデートリスト



セキュリティ脅威への対策の難しさ

セキュリティ脅威をカバーする「A-gate®」を利用することで、万全な対策が可能となります！

⇒ A-gate®ではService Cloud, Sales Cloud, Experience Cloud の全API仕様を確認しました。
全アップデート項目を確認し、情報漏洩リスクがあればこれを塞ぐ検知修復機能を追加します。

Salesforceの全APIを調査、 情報漏洩リスクを特定！

No.	API項目	一次確認 (結果)	二次確認 (検出結果)	検知修復機能	備考
1	AccountRelationshipShareRule	調査	内部ユーザ向けの共有権限の変更のためリスク	不要	-
2	ActionLinkGroupTemplate	調査	調査	不要	-
3	ActionPlanTemplate	調査	調査	不要	-
4	AIApplication	調査	調査	不要	-
5	AIApplicationConfig	調査	調査	不要	-
6	AnalyticSnapshot	調査	スナップショットを読み取るobjectがゲストユーザが参照可能な場合、調査リスクがあるが	不要	-
7	AnimationRule	調査	調査	不要	-
8	ArticleType	調査	調査	不要	-
9	ApexClass	調査	調査	不要	-
10	ApexComponent	調査	調査	不要	-
11	ApexEmailNotifications	有害の可能性あり	PGMエラーを起した際のメール通知機能	不要	-
12	ApexPage	調査	調査	不要	-
13	ApexTestSuite	調査	調査	不要	-
14	ApexTrigger	調査	調査	不要	-
15	AppMenu	調査	調査	不要	-
16	AppointmentSchedulingPolicy	調査	調査	不要	-
17	ApprovalProcess	調査	調査	不要	-
18	AssignmentRule	調査	調査	不要	-
19	AssignmentRuleCriteria	調査	調査	不要	-
20	AssignmentRuleCriteria	調査	調査	不要	-
21	AssignmentRuleCriteria	調査	調査	不要	-
22	AssignmentRuleCriteria	調査	調査	不要	-
23	AssignmentRuleCriteria	調査	調査	不要	-
24	BatchProcessJobDefinition	調査	調査	不要	-
25	BlacklistedConsumer	調査	調査	不要	-
26	Bot	調査	調査	不要	-
27	BotVersion	調査	調査	不要	-
28	BrandingSet	調査	調査	不要	-
29	BriefcaseDefinition	調査	調査	不要	-
30	BusinessProcessGroup	調査	調査	不要	-
31	CallCenter	調査	調査	不要	-
32	CallCoachingMediaProvider	調査	調査	不要	-
33	CampaignInfluenceModel	調査	調査	不要	-
34	CaseSubjectParticle	調査	調査	不要	-
35	CareSystemFieldMapping	調査	調査	不要	-

数千に渡る全API、全パラメータの調査

<確認観点>

- インターネット上にデータを公開する機能
- 外部ユーザにデータを共有する機能
- インターネットユーザにデータを共有する機能



03

A-gate[®] Salesforce の 機能・特長

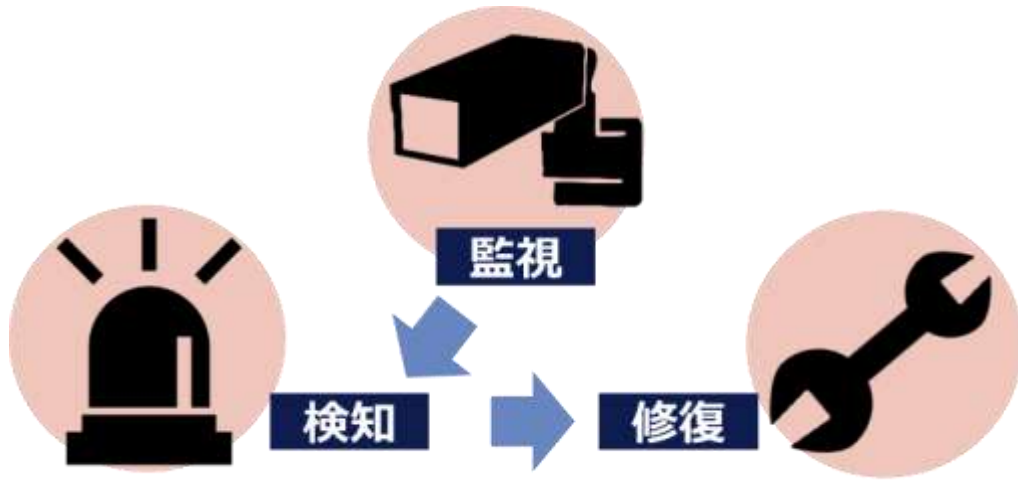


A-gate®とは

株式会社NTTデータが提供するクラウドセキュリティサービス「A-gate®」は、Salesforce上で「情報漏洩リスクのある設定」が行われると即時に検知・修復し、クラウドを常に安全な状態に保ちます。

常時監視して修復するリアルタイム検知修復機能と任意のタイミングで現在のリスク有り設定を確認する機能をご提供します。

リアルタイム検知修復



リソース状態確認

クラウド種別	アカウントID	状態確認日時	ステータス
Salesforce	s-ndt2-pr-0000 (00005)0000008xyg	2022/04/19 09:53:41	監視済

※「チェックした項目をまとめて例外登録する」は[設定画面](#)でのみ実行可能です。

すべての行を解除する

テナントのリソース状態を削除する

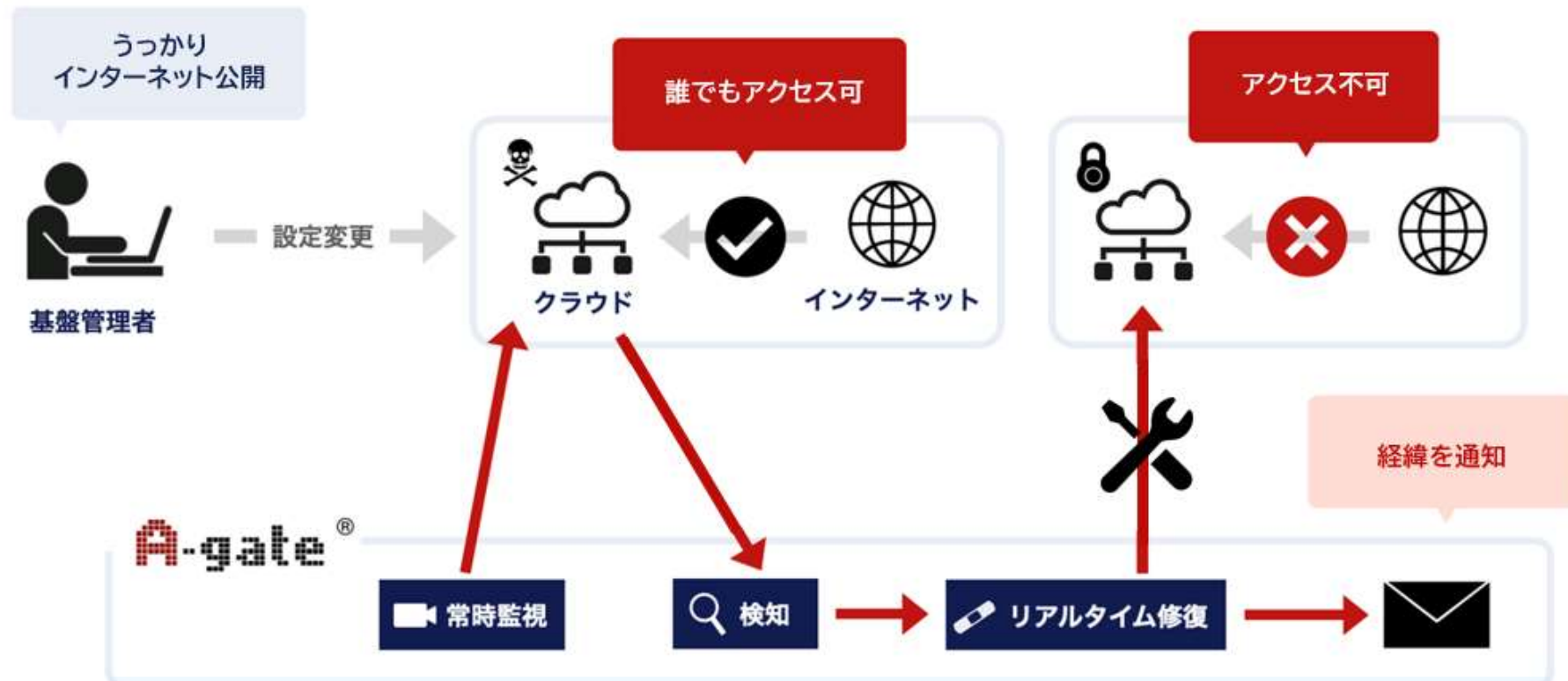
チェックした項目をまとめて例外登録する

検知規則ルール					例外登録実施状況	
▼ SFDcRule_0001_ファイルのインターネット公開リンク作成					未登録あり	
リソース名		リソース詳細			例外登録状況	例外登録する
ファイル名 (タイトル)	dummy2	ファイルサイズ	5	未登録	<input type="checkbox"/>	
ファイル名 (タイトル)	dummy	ファイルサイズ	5	登録済	-	
▼ SFDcRule_0002_ゲストユーザ共有ルールによるアクセス権限の付与					未登録あり	
リソース名		リソース詳細			例外登録状況	例外登録する
共有先のサイト名	サイトゲストユーザ Agatecagatet@agate.force.com	共有するオブジェクト	Lead:リード	未登録	<input type="checkbox"/>	
共有先のサイト名	サイトゲストユーザ Agatecagatet@agate.force.com	共有するオブジェクト	Account:取引先	登録済	-	

A-gate® リアルタイム検知修復

リアルタイム 検知修復機能について

A-gate®では情報漏洩に直結する設定・操作（公開・共有や参照権限付与など）を「ポリシー違反」と定義しており、該当動作が行われていないかをリアルタイムで常時監視しています。ポリシー違反に該当する操作や設定変更が行われた場合は、直ちに直前の状態に修復・削除し、Salesforceを安全な状態に保ちます。



A-gate機能を 継続してアップデート

クラウドを安全に利用するために、NTTデータにてクラウドの進化（新機能追加／更新）に追随

A-gate®ならではの強み - まとめ

A-gate(Salesforce)の強みは、お客様に寄り添ってSalesforceの情報漏洩リスクに対応している点です。

	A-gateでの対応	内容	強み
1	分かりやすいリスクへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルのインターネット公開をブロック ・ Chatへの外部ユーザー招待をブロック 	✓ 情報漏洩リスクに直結するアクションに手を打ちます
2	複雑な権限設定への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複雑な権限設定の組合せで起こり得る、外部ユーザーからの不要なオブジェクト参照をブロック 	✓ 適切な権限設定・運用をサポートします
3	利用シーンに応じた動作モード提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検知修復機能において、以下の動作モードを提供 構築中は「通知モード」: 自動修復なし 通常時は「修復モード」: 自動修復あり ・ 各種モードでのホワイトリスト一括登録を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 構築期間は、勝手に修復しない「通知モード」とすることが出来ます ✓ 通常時は「修復モード」の設定でお客様環境の設定をキープします

<ユーザー様へのメリット>



Salesforce有識者の
確保が不要



大規模アップデートへの
追従が不要



機械的なチェックにより
作業の抜け漏れを防止など

Salesforce環境の利用規模を問わず、お客様や取引先との安心・安全なSalesforce活用できるようになります。

Salesforceネイティブ機能との違い

Salesforceのネイティブ機能として、セキュリティ関連では Optimizer/セキュリティ状態チェックといった機能があります。(2023年11月時点)
A-gateとは ねらい・守備範囲が異なり、
Salesforceはセキュリティとして望ましくない設定を検出、A-gateは情報漏洩する可能性のある設定を検出します。

Salesforceネイティブ機能	
Salesforce や Webサイト としてあるべき設定か？	
Optimizer (使用状況のスナップショット作成)	堅牢なSalesforce利用のための 推奨設定
セキュリティ状態チェック (セキュリティ設定の表示)	Webサイトとしての堅牢な設定

設定の自由度を残しつつ、
セキュリティを懸念する企業へ配慮した推奨します

A-gate®
社外ユーザやインターネットユーザに公開・共有している 設定はあるか？
情報漏洩リスクに特化

情報を外部に公開/共有する設定にフォーカスし、
Salesforce環境を集中的に守ります！

04

A-gate[®]の実績・導入事例



A-gate® Salesforceの導入事例 ①

Salesforceアップデートにおけるセキュリティリスク検証の負荷を軽減



お客様企業

金融機関



案件状況

顧客向けサービス基盤に「A-gate®」を導入



課題

- ・自社運用においてSalesforce環境を都度設定、見直しされていましたが、負担が大きいといった課題感がありました。
- ・Salesforceの年数回のバージョンアップに対して、どこまで確認すれば良いのか保証できる仕組みがなく、影響確認について懸念がありました。



解決

- ・Salesforceの難解な権限構造における設定状態の把握は困難ですが、A-gateを導入することで漏洩リスクのある箇所がピンポイントで検出されます。
- ・A-gateにより漏洩リスク観点で網羅的なチェックが可能です。A-gate自体がSalesforceアップデートに追従することでセキュアな環境が維持されます。

参考) A-gate®の導入実績

セキュリティに厳格な金融機関向けにサービスを提供開始した「A-gate®」ですが、多種多様な業界のお客様にご評価いただき、利用環境数は1000を超えました。(2023年11月時点)



(Amazon Web Services ・ Microsoft Azure ・ Google Cloud ・ Oracle Cloud Infrastructure ・ Salesforce 合計)

05

A-gate® Salesforce 導入の流れ



A-gate®導入の流れ

ステップ1

お問い合わせ（お客様）

→A-gate公式サイト経由にてお申し込みください。

ステップ2

A-gate概要紹介（A-gate）

→お打ち合わせにて、A-gateの概要説明をさせていただきます。（機能概要、料金、申込方法等をご説明します）

ステップ3

お申し込み（お客様）

→ご利用開始の1ヶ月前が目安となります

ステップ4

ご契約（お客様・A-gate）

ステップ5

ご提供準備（お客様・A-gate）

→手順書をもとに、お客様のSalesforce環境にてA-gateをインストールしていただきます。（A-gate側でも設定を行います。）

ステップ6

ご利用開始

お問合せ

Salesforceをビジネスで活用するにあたり欠かせないセキュリティ対策。
進化し続けるSalesforceに対して、自社のセキュリティ対策に不安を感じている方は、
ぜひクラウドセキュリティサービス「A-gate®」の導入をご検討ください。

公式サイトのお問い合わせボタンより、お気軽にお問い合わせください。

A-gate®に関するお問い合わせ



A-gate

「A-gate」は、株式会社NTTデータの登録商標です。

株式会社NTTデータ
第二金融事業本部 デジタルバンキング事業部

[公式サイトリンク](#)

お問い合わせ
ボタン
から！

A-gate(IaaS/PaaS)公式サイト



クラウドのリスクとその対策方法を
マンガでわかりやすくご紹介！

<https://agate.nttdata.com/>

A-gate(Salesforce)公式サイト



Salesforceの潜在リスクとその対策方法を
マンガでわかりやすくご紹介！

<https://agate.nttdata.com/salesforce/>

The image features a low-angle shot of a modern city skyline with several tall skyscrapers. The sky is a clear, deep blue. In the foreground, there are some trees and a street with a few vehicles. The NTT Data logo is prominently displayed in the center of the image, overlaid on the buildings.

NTT data